

# 作品展示会

参加者の方々の作品です。素晴らしい力作揃いですね。皆さんも一度トライしてみたいのではないでしょうか。



平成16年10月19日～26日の期間、エルシティ(イトーヨーカ堂)1階セントラルコートにて、かりや景観づくり講座で参加者が作成された刈谷よいとこマップの展示を行いました。

# 参加者の声

刈谷の良いところ・大好きなところを教えてください。

- ・かりがね学区のあいづま川をわたっている橋があって、その下はなの花でいっぱい。
- ・整備された道、清潔で安全で心癒される公園、福祉にも充実している点、これからももっと住みやすい町作りがされると期待しています。
- ・道がよく整備されているところ。
- ・広くて自然が多いところ。自然を生かした道路や歩道が少しずつふえていることに気づきました。
- ・緑も多く、景観がよいところもあり、とても住みやすいまちです。
- ・公園がいっぱい、しせつがいっぱいなところ。
- ・洲原プール。
- ・緑がたくさんなところ。
- ・都市化しつつある中で、古いところを残しているところ、バリアフリー化されていて、高齢化社会にやさしいところ、緑と花が充実しているところが好きです。
- ・よいところは刈谷のバリアフリー。刈谷にはバリアフリーがいっぱいある。たとえば、かいだんがスロープになっている。みんな不自由な人にやさしいと思っているが、ベビーカーなどにもやさしい。



ひかり結ぶまち

# かりや景観れぽーと

テーマ  
かりや景観づくり講座

VOL.13

発行日:平成17年3月15日  
発行:刈谷市都市計画課  
TEL (0566)62-1022



かりや景観づくり講座(まち歩き)



刈谷ハイウェイオアシス



ミササガ・パーク周辺



かりや景観づくり講座(マップづくり)

今回は、親子を対象に開催した「かりや景観づくり講座」を中心にご紹介します。  
「かりや景観づくり講座」は、今回“親子で作ろう！「刈谷よいとこマップ」”と題し、刈谷市の景観をテーマにしたマップづくりを行いました。「刈谷よいとこマップ」とは、刈谷のまちを歩いて、綺麗な所や趣のある所を地図に表したものです。  
親子で刈谷のまちを歩き、「よいとこ」を発見して、それを地図におこすという一連の作業は、住み慣れたまちの魅力的な部分を気づかせてくれます。きっと以前とは違った新鮮な刈谷が目映ることでしょう。  
自然と人工物、歴史と新技術が同居する刈谷市には、たくさんの魅力が詰まっています。みなさんも休日、散歩がてらに刈谷のよいとこ探しをしてみませんか？

# かみや景観づくり講座

## 第1回講座

開催日時：平成16年8月1日(日) 9:30~16:00  
開催場所：刈谷市役所

### オリエンテーション

愛知教育大学の寺本先生の指導のもと、「刈谷よいところマップ」作成のためのオリエンテーションが行われました。

参加した親子は、最初は緊張している様子でしたが、先生のユーモアを交えた分かりやすいお話で、「景観マップとは何か」「どういうことを描けばいいのか」を学びました。

### 寺本先生直伝

#### 景観の見方・写し方のポイント

- ①”おもしろいな”、”キレイ!”と感じる場所を見つけよう!
- ②一歩前へ出て、撮影をしよう!
- ③周りの風景を観察しよう!



講義中の寺本先生。優しく楽しい先生です!



作品制作の様子。皆、一生懸命です。意外に親が熱中?

### まち歩きと撮影

オリエンテーションが終わると、実際に寺本先生と一緒に銀座周辺を歩き、見るポイントなどを直接指導していただきました。

この日はちょうど、万燈祭の2日目にあたり、まちでは万燈が見られ、いつもとは違った雰囲気。「歴史も景観の1つですよ」との先生の言葉に、カメラのシャッターを切る参加者。普段、何気なく見ている看板や建物、家々の鉢植えや道路の照明なども、視点を少し変えるだけで、新鮮なものに見えてきます。

良い所を見つけると、一緒に悪い所も気になってきます。歩きながら「建物の色がバラバラなのは格好が悪い」「派手すぎる看板は印象がよくない」など、様々な感想が飛び出しました。

その後の自由行動では、気になる家への突撃インタビューを試みた親子もおり、暑い中でも皆さん積極的に市内を散策していました。



まち歩きの様子。暑かったけど、頑張りました。

### マップ製作&発表会

まち歩きの後、撮影してきた写真を使ってマップづくりを行いました。

先生からマップづくりの指導を受けた後、写真・色紙・マジックなどを使い、独自の切り口で刈谷のまちをマップにしていきます。

親子で話し合いながらの共同作業は楽しく、あっという間に時間は過ぎてしまいました。

短い時間での作業でしたが、親子それぞれの視点からみた刈谷を、ユニークで素晴らしい作品に作りあげ、発表会も充実したものとなりました。

さて、この後は自宅でのマップづくりです。家の周りの綺麗な所、いつも遊びに行くあの公園、気になるあの家…。どんな場所を題材に、どんなマップができあがるのでしょうか?

発表は2ヵ月後です。



作品発表の様子。子どもを親がサポートする形での発表です。

### 寺本先生直伝

#### 刈谷よいところマップ(景観マップ)の作り方

<p>写真</p>		<p>好きな形のビル 対比 嫌いな形のビル</p>	<p>カッコイイ!</p>
-----------	--	-----------------------------------	---------------

**地図型** ※撮影した地点をきちんと地図に示すとカッコいい地図になるよ!

**風景型** ※遠近感を表現しながら、絵のように描くといよ!

**図解型** ※ビルの側面を開くと理想の形が飛び出すのも面白いよ!

**テーマ型** ※ある統一したテーマでポスターを作るとまとまるよ!

## 第2回講座

開催日時：平成16年9月26日(日) 13:00~15:30  
開催場所：刈谷市役所

# 刈谷の“よいところ”再発見! 親子で作ろう! 『刈谷よいところマップ』

### 作品発表会

第1回講座後、自宅で作ってきた作品を発表しました。一人の持ち時間は5分。皆さん原稿を準備しての立派な発表で、担当の職員も感心させられる作品が続出しました。

歴史に注目した作品、川やトイレなど、ポイントを絞った作品、家の周りの「よいところ」をマップにした作品やおすすめスポットランキングなど、バリエーションも豊富なものとなりました。

### 現地見学

発表後には、作品の題材となった場所を実際に見に行きました。

すべての作品をみる時間がなかったため、川と橋という視点から刈谷をみた池田さん親子の作品と、トイレというユニークな切り口で刈谷を描いた小森さん親子の作品について、現地見学をしました。

皆でマイクロバスに乗り込み、まず向かった先は、小森さん親子が題材にした双葉学区のトイレ。北口公園にあるバス型のトイレは非常にユニークで、発表した小森くんいわく、「楽しいトイレ」と



現地見学の様子。ここはバスの形をしたトイレがある北口公園です。



作品発表中。1回目に比べて、堂々としているネ!



意欲作を発表する姿に、親も感心です。

のことでした。塩田公園のトイレは中が明るく、屋根が丸くなっているため、上に乗って遊ぶ心配も無く、親も安心して遊ばせることができると、小森さん。中もバリアフリーで安心です。

次は池田さん親子が題材にした川と橋を見に行きました。猿渡橋はミササガ・パークの近くの橋です。

カナダのミササガ市との姉妹都市提携20周年を記念して造られたもので、ミササガ橋とも呼ばれています。

このマップを作った池田さんが、「バードウォッチングに最高の橋」というように、この時も鳥がたくさん飛来していました。

最後は神明橋。欄干に乗っている不思議な球体。その謎も池田さんの作品を見れば一目瞭然。答えは神明橋の看板にあります。皆さんも一度見に行ってみてはいかがでしょうか?

刈谷に住んでいても、知らないことはまだまだいっぱいあるようです。



修了証授与。おめでとう!

### 講座修了

講座修了を記念して、参加者には修了証と記念品が授与されました。

また、講座での楽しそうな親子の様子を写真に収めたミニアルバムを贈呈しました。

親子でまちを散策し、一緒にマップを作ったことは、親にとっても子にとっても、良い思い出となることでしょう。



寺本 潔氏  
(愛知教育大学社会科教育講座 教授)

1956年(昭和31年)熊本県生まれ。熊本大学卒業。筑波大学大学院修了後、筑波大学付属小学校教諭を経て、現在愛知教育大学教授。主著に「子供の眼でまちづくり」など多数。西尾市や中部電力の主催で、マップづくりのイベントを多数手がけている。

寺本先生は  
こんな先生だよ



寺本先生(中央)と参加者の皆さん。修了証をもって、ハイ・チーズ!